

経営比較分析表（令和6年度決算）

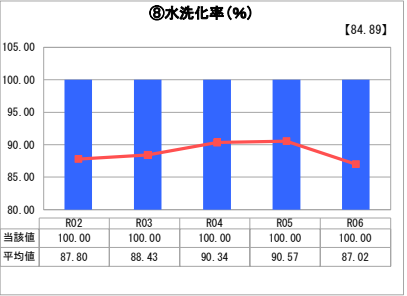
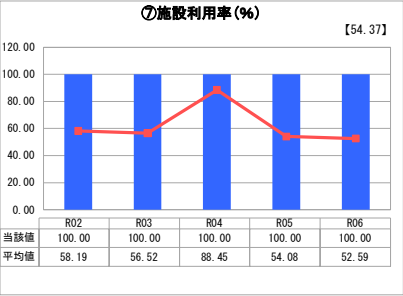
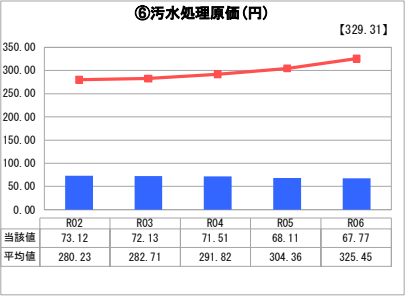
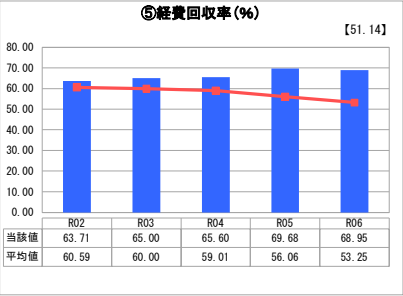
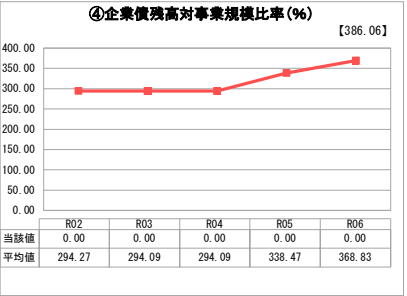
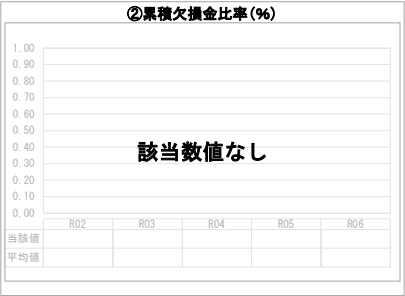
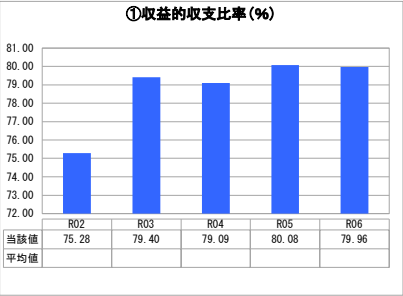
群馬県 南牧村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	40.20	100.00	3,630

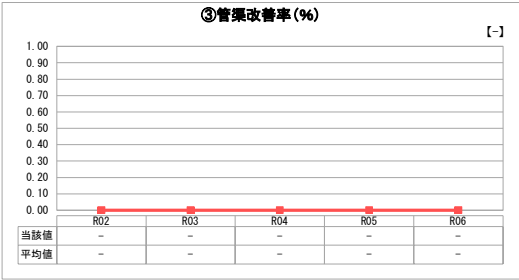
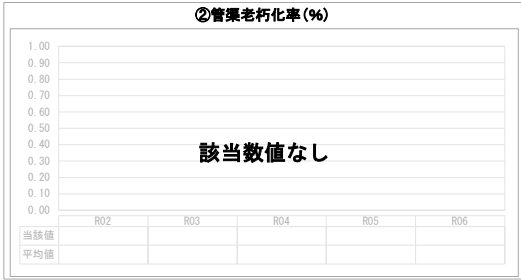
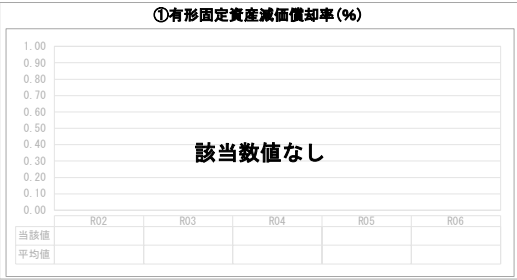
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,427	118.83	12.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
568	0.04	14,200.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①前年度より収支比率が若干下がった。経営改善に向けて、引き続き努力を図ってきたい。
④企業債については、一般会計にて負担しており、引き続き一般会計で対応していきます。
⑤浄化槽経費回収率は若干下がったが、汚水処理に係る費用を使用料以外の収入で賄っている。村の施策として、空き家改修事業に力を入れており、住宅改修によって浄化槽の設置が行われるため、使用料収入の増加が期待できる。
⑥汚水処理原価は70円前後で推移している。浄化槽の新規設置もあるが休止もあるため、総体的に大きな変動は見受けられない。
⑦施設利用率は、ここ5年間は100%であり、適正規模であると思われる。
⑧水洗化率は、ここ5年間は100%であり、公共用水域の水質保全は保たれている。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率 該当数値なしである。
本村では、平成9年度より合併処理浄化槽を設置し20年以上が経過した浄化槽が多くなってきており、修繕が必要な浄化槽も増えてきている。保守点検等で早期発見、早期対応を行っているが、今後の対策については検討が必要となる。

全体総括

村の施策として、空き家を改修して移住希望者に紹介する活動に力を入れている。改築に伴い合併処理浄化槽の設置が期待される。一方で設置済み住宅が空き家になり、その影響で使用料収入が減少となることが考えられるので、その対策についても検討していきたい。今後も浄化槽の設置の普及を図り、南牧川の水質保全に努めていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。